

消 防 消 第 1 5 1 号
消 防 地 第 3 3 3 号
令 和 4 年 5 月 1 7 日

各都道府県消防防災主管部長 殿

消 防 庁 消 防 ・ 救 急 課 長
消防庁国民保護・防災部地域防災室長
(公 印 省 略)

消防職団員の安全管理等（熱中症対策）の再徹底について

消防職団員の安全管理等については、「消防職団員の教育訓練時における安全管理等の再徹底について」（平成 21 年 7 月 8 日付け消防消第 197 号）等により徹底をお願いしていますが、夏季期間中を中心に毎年のように熱中症に起因する事故が発生している状況にあります。また、気象庁の発表によれば、今年の夏（6～8 月）の平均気温は、全国的に平年より高いとの予報があることから、より一層の対策が求められるところです。

このことから、貴職におかれましては、各消防本部、各消防学校及び各消防団に対し、熱中症対策を含めた安全管理体制及び健康管理体制について改めて点検するよう御指導願います。なお、熱中症対策については、「警防活動時等における安全管理マニュアル及び訓練時における安全管理マニュアルの一部改正について」（平成 28 年 3 月 31 日付け消防消第 63 号）のほか、労働環境や運動環境の目安として環境省が発表する「暑さ指数（WBGT）」等を参考とするとともに、新型コロナウイルスの感染防止にもなう感染防止衣等着用の影響に留意するなど、万全を期すよう願います。

本通知は、消防組織法（昭和 22 年法律第 226 号）第 37 条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

【参考①】暑さ指数（WBGT：湿球黒球温度：Wet Bulb Globe Temperature）は、熱中症を予防することを目的として 1954 年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度（℃）で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数（WBGT）は人体と外気とのやりとり（熱収支）に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射など周囲の熱環境、③気温の 3 つを取り入れた指標です。

なお、暑さ指数が 28℃（厳重警戒）を超えると熱中症患者が著しく増加する傾向が見られます。

詳しくは環境省熱中症予防情報サイト（P C 版）<https://www.wbgt.env.go.jp/>

【参考②】環境省と気象庁が連携し「熱中症警戒アラート」が全国で運用されています。「熱中症警戒アラート」は、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される際に発表されるもので、国民に「気づき」を与え、適切な熱中症予防行動を効果的に促すための情報となっております。また、今年度は4月27日から「環境省熱中症予防情報サイト」において暑さ指数(WGBT)を情報提供しています。

参考として、先般、関係府省庁より発出している「熱中症警戒アラート」及び「熱中症予防強化キャンペーン」について（協力依頼）（令和4年4月27日付け環保安発第2204271号環境省大臣官房環境保健部長等通知）を添付しましたので、御参照ください。

添付資料

【別添1】「警防活動時等における安全管理マニュアル」抜粋（消防庁）

【別添2】「訓練時における安全管理マニュアル」抜粋（消防庁）

【別添3】「熱中症警戒アラート」及び「熱中症予防強化キャンペーン」について（令和4年4月27日付け環保安発第2204271号環境省大臣官房環境保健部長等通知）

参考資料

（厚生労働省）

「熱中症予防のために」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000631950.pdf>

（環境省）

「熱中症環境保健マニュアル2022」

https://www.wbgt.env.go.jp/heatillness_manual.php

（環境省・気象庁）

「熱中症警戒アラート」の全国での運用開始について

<http://www.env.go.jp/press/109467.html>

消防庁 消防・救急課

職員第一係 松本・小島

TEL：03-5253-7522

FAX：03-5253-7532

E-mail：shokuin@soumu.go.jp

消防庁 国民保護・防災部

地域防災室 消防団係 青野・野崎

TEL：03-5253-7561

FAX：03-5253-7576

E-mail：syobodan@ml.soumu.go.jp

「警防活動時等における安全管理マニュアル【改訂版】」より抜粋

I 総論

§ 1 基本事項

5 熱中症対策（2 ページ）

5 熱中症対策

行 動 内 容	ねらい
1 平素からこまめな水分摂取に配慮し、急な災害出場にも対応できる準備をする。	◎水分や塩分補給による熱中症対策
2 災害現場においてもこまめな水分摂取ができるように、必要に応じて補給隊を配備するなど体制の整備を図る。	
3 活動が長期に渡る場合は、塩分の摂取にも配慮する。	
4 夏季や長時間の活動時には、体調の異変を感じる前に、防火衣の中にアイスパック等を装着したり、活動途中に水を流し込むなど身体の冷却を図る。	◎身体を冷却することによる熱中症対策
5 必要に応じて休息をとるなどして、安全な場所で防火衣の前面開放や防火帽の離脱を行い、防火衣内等に蓄積された熱を外気に放出させ、身体を冷却する。	◎防火衣等に蓄積された熱の放出による熱中症対策

※「警防活動時等における安全管理マニュアル【改訂版】」全文

https://internal.fdma.go.jp/hiyarihatto/juyo/anzenkanri_h28.html

「訓練時における安全管理マニュアル【改訂版】」より抜粋

第 1 部 総論

第 2 章 訓練の進行及び指導

第 2 節 訓練の指導

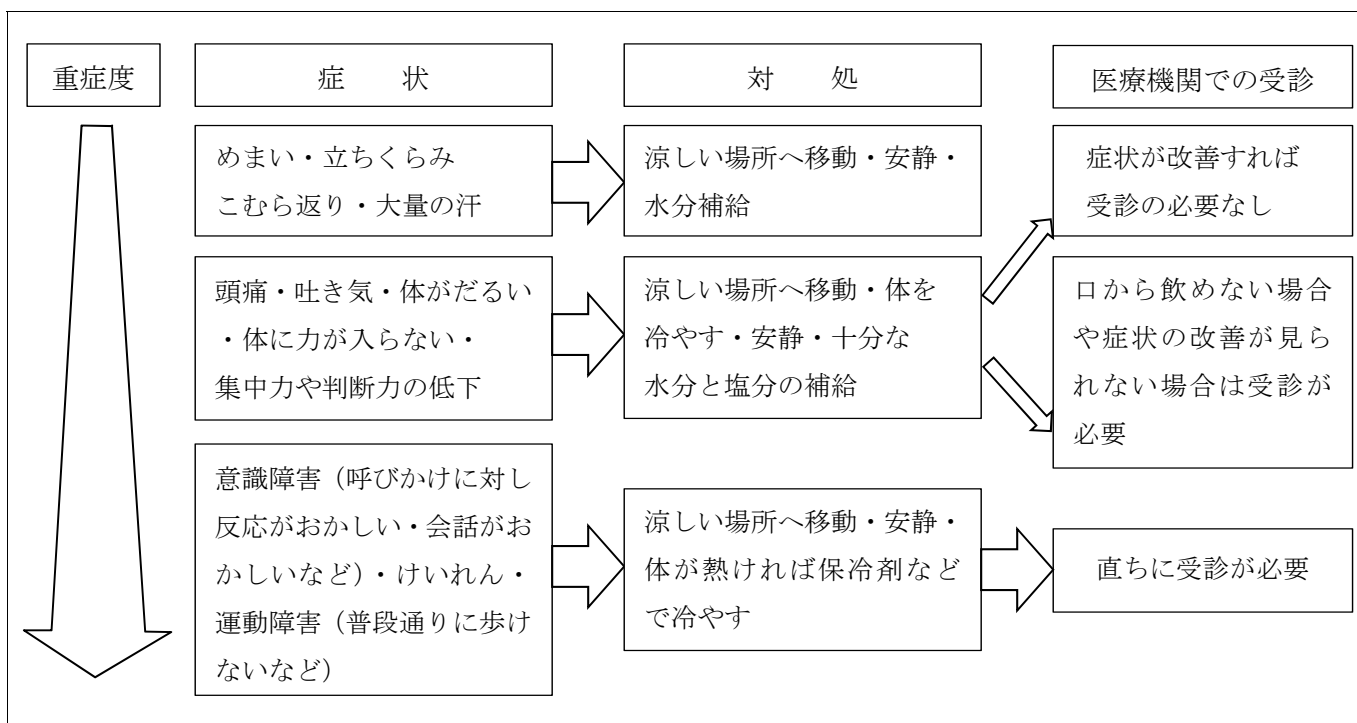
2 熱中症対策（14 ページ）

2 熱中症対策

(1) 熱中症予防対策

- ① 熱中症及びその対処法に関する知識を隊員間で共有する。
- ② 平素からこまめな水分摂取に配慮する。
- ③ 訓練時においても水分摂取ができるよう環境を整備するとともに、塩分の摂取にも配慮する。
- ④ 必要に応じて休息をとるなどして、風通しのよい涼しい場所で防火衣や保安帽の離脱を行い、防火衣内等に蓄積された熱を外気に放出させ、身体を冷却する。
- ⑤ 事前の体調管理を徹底し、体調不良の隊員は訓練への参加を控える。

(2) 熱中症の分類と対処法



※「訓練時における安全管理マニュアル【改訂版】」全文

https://internal.fdma.go.jp/hiyarihatto/juyo/h2803_safety_management_manual_in_training.pdf

閣 副 第 4 7 9 号
府 政 防 8 1 3 号
消 防 救 第 1 4 1 号
4 文 科 教 第 1 8 6 号
健 発 0 4 2 7 第 4 号
4 農 産 第 4 4 0 号
20220426 官 房 第 1 号
国 総 環 第 3 号
観 参 第 7 1 号
気 業 第 5 7 号
環保安発第 2204271 号
環水大大発第 2204263 号

令和 4 年 4 月 27 日

各都道府県知事 殿

内閣官房孤独・孤立対策担当室長
内閣府大臣官房審議官（防災担当）
消 防 庁 審 議 官
文 部 科 学 省 総 合 教 育 政 策 局 長
厚 生 労 働 省 健 康 局 長
農 林 水 産 省 大 臣 官 房 生 産 振 興 審 議 官
経 済 産 業 省 大 臣 官 房 長
国 土 交 通 省 総 合 政 策 局 長
観 光 庁 審 議 官
気 象 庁 大 気 海 洋 部 長
環 境 省 大 臣 官 房 環 境 保 健 部 長
環 境 省 水 ・ 大 気 環 境 局 長

「熱中症警戒アラート」及び「熱中症予防強化キャンペーン」について（協力依頼）

平素より熱中症対策の推進につきましては、格別の御協力をいただき厚く御礼申し上げます。近年、気候変動等の影響もあり、熱中症による救急搬送人員、死亡者数は高い水準で推移しており、国民生活に深刻な影響を及ぼしています。令和 4 年夏の気温が全国的に高い傾向の予測となっており、今夏の熱中症リスクは非常に高くなることが考えられ、例年以上に一層の危機感を持って対応しなければなりません。このため、令和 4 年 4 月 13 日（水）に第 3 回熱中症対策推進会議を開催し、「熱中症対策行動計画」を改定しました。今回の改定では、「熱中症警戒アラート」などにに基づき、国民、事業所、関係団体などによる適切な熱中症予防行動のより一層の定着を目指すことを令和 4 年夏の目標としております。

引き続き、①「熱中症警戒アラート」及び②「熱中症予防強化キャンペーン」について着実に取り組んでまいります。

つきましては、本通知を貴都道府県内の関係部署、市区町村、関係団体に回付いただくとともに、下記の内容について御協力をお願いいたします。

なお、対応いただく際には、庁内の関係部局が連携・協力して取り組んでいただけるようお願いいたします。

記

1. 熱中症警戒アラートについて

「熱中症警戒アラート」は、熱中症の危険性が極めて高くなる暑熱環境が予測される場合に、国民に「気づき」を与え、予防行動を促す事を目的として発表するものです（詳細は別紙1、2参照）。令和4年度は4月27日（水）から10月26日（水）の間、全国を対象として「熱中症警戒アラート」を運用します。「熱中症警戒アラート」発表時の、関係団体、住民等における熱中症予防対策の一層の強化に向けた取組への御協力をお願いいたします。

＜「熱中症警戒アラート」発表時の、関係団体、住民等における熱中症予防対策の一層の強化に向けた取組＞

- 「熱中症警戒アラート」の内容、発表時の対応方法等についての庁内関係部署、関係団体、住民への事前周知。
- 「熱中症警戒アラート」発表時の庁内関係部署、関係団体、市区町村への速やかな情報展開。（例：教育機関・福祉施設・労働現場・農作業場・スポーツ施設等への展開）
- 貴都道府県・市区町村の熱中症予防対策及び関連施策における「熱中症警戒アラート」の活用（例：防災行政無線・メール・デジタルサイネージ等での住民への注意喚起、熱中症予防に係る見回りや声かけの実施・強化、屋外等での運動・作業・イベント等の延期・中止等の働きかけ）。

なお、熱中症警戒アラートに関するより詳しい資料、取組の際に活用いただくことができるリーフレット、ポスター等（別紙2のリーフレットは一例）を環境省の熱中症予防情報サイト（<https://www.wbgt.env.go.jp/>）に掲載していますので御参照ください。

2. 熱中症予防強化キャンペーンについて

「熱中症予防強化キャンペーン」は、毎年4月1日～9月30日を実施期間として、時季に応じた適切な呼びかけを行い、住民の熱中症予防行動を促す取組です。直近の呼びかけとしては、業界団体が4月10日を「エアコン試運転の日」と定めており、経済産業省及び環境省は連携して、家庭内における熱中症を予防するため、本格的な夏季を迎える前に、各家庭において早期にエアコンの試運転を行っていただくことを推奨しています。

今夏も、関係府省庁で連携して熱中症に関する普及啓発を行うので、地域における熱中症対策への御協力をお願いいたします。

＜時季に応じた呼びかけ＞

- ① 4～6月（準備期間）：暑熱順化や、エアコンの点検を推奨
- ② 7月（梅雨明けを見据え）：梅雨明けに特に熱中症のリスクが高いことを注意喚起
- ③ 8月（盛夏期）：全般的な熱中症対策を呼びかけ
- ④ 9月（残暑・台風）：残暑や、災害時における熱中症の注意喚起

(参考)

報道発表：政府における「熱中症対策行動計画」の改定について

<http://www.env.go.jp/press/110903.html>

別紙１：熱中症予防のための新たな情報発信「熱中症警戒アラート」について

別紙２：熱中症警戒アラート発表時の予防行動

別紙３：熱中症対策にエアコンの試運転を！

以上

「熱中症警戒アラート」について

令和4年度は4月27日(水)から10月26日(水)まで実施

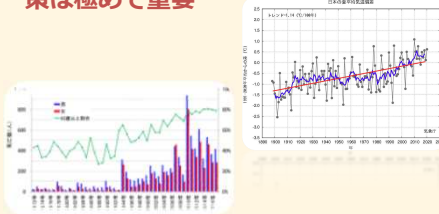


熱中症警戒アラート

環境省・気象庁が新たに提供する、暑さへの「気づき」を呼びかけるための情報。熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される際に発表し、国民の熱中症予防行動を効果的に促す。

1. 背景

- 熱中症による**死亡者数・救急搬送人員**は高い水準で推移しており、気候変動等の影響を考慮すると**熱中症対策は極めて重要**



2. 発表方法

- 高温注意情報を、熱中症の発生との相関が高い**暑さ指数(WBGT)**を用いた新たな情報に置き換える

暑さ指数(WBGT)とは、人間の熱バロウに影響の大きい

気温 湿度 輻射熱

の3つを取り入れた暑さの厳しさを示す指標です。

※各地域の暑さ指数は環境省の熱中症予防情報サイト参照



3. 発表の基準

- 府県予報区内のどこかの地点で暑さ指数(WBGT)が**33以上になると予測した場合に発表**

暑さ指数(WBGT)	注意すべき生活活動の目安 ^{注1)}	日常生活における注意事項 ^{注2)}	熱中症予防の運動指針 ^{注3)}
31℃以上	すべての生活活動で大きな危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	運動は原則中止。特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
28～31℃	中等度以上の生活活動で大きな危険性	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	運動(軽微な運動)は中止。熱中症の危険性が高いため、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
25～28℃	中等度以上の生活活動で大きな危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休憩を取り入れる。	警戒(積極的に休憩) 熱中症の危険性が高いため、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきに水分・塩分を補給する。
21～25℃	強い生活活動で大きな危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	注意(積極的に水分補給) 熱中症による死・重傷が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。

注1) 日本生気象学会指針より引用
注2) 日本スポーツ協会指針より引用

4. 発表の地域単位・タイミング

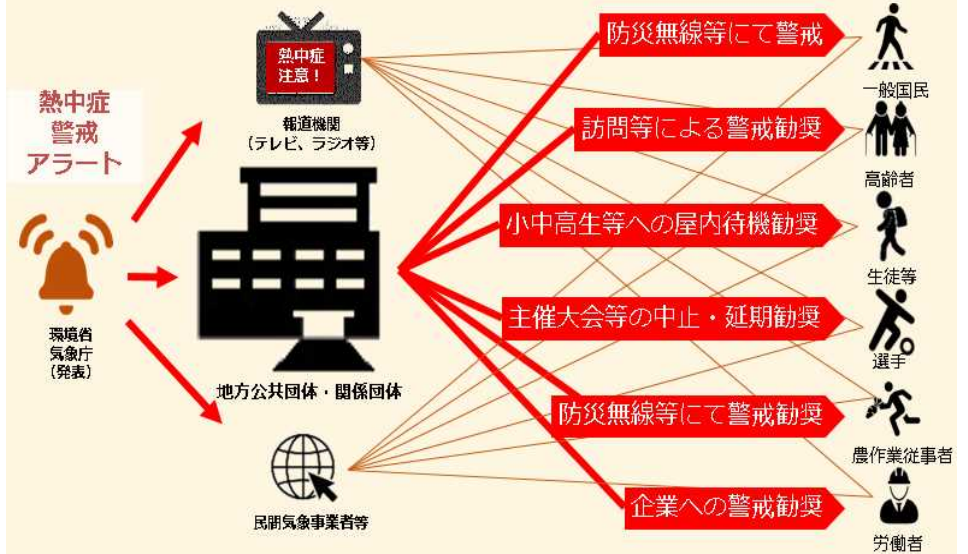
<地域単位>

- 気象庁の府県予報区等単位**で発表
- 該当府県予報区内の観測地点毎の予測される暑さ指数(WBGT)も情報提供

<タイミング>

- 前日の17時頃及び当日の朝5時頃**に最新の**予測値**を元に発表
- 報道機関の夜及び朝のニュースの際に報道いただくことを想定
- 「気づき」を促すものであるため、一度発表したアラートはその後の予報で基準を下回っても取り下げない

5. 情報の伝達方法(イメージ)



※ 農作業従事者向けの「MAFFアプリ」や訪日外国人旅行者向けの「Safety tips」、LINE公式アカウントをはじめとしたSNSアカウント等も活用し、情報を発信。

6. 発表時の熱中症予防行動例

- 熱中症の危険性が極めて高くなると予測される日の前日または当日に発表されるため、**日頃から実施している熱中症予防対策を普段以上に徹底**することが重要。

(例)

- 不要不急の外出は避け、昼夜を問わずエアコン等を使用する。
- 高齢者、子ども、障害者等に対して周囲の方々から声かけをする。
- 身の回りの暑さ指数(WBGT)を確認し、行動の目安にする。
- エアコン等が設置されていない屋内外での運動は、原則中止/延期をする。
- のどが渇く前にこまめに水分補給するなど普段以上の熱中症予防を実践する。



7. 令和3年度の実績

全国における **発表地域：53地域/58地域**
発表日数：75日/183日
延べ発表回数：613回
 ※4/28～10/27時点

熱中症警戒アラートの入手方法（概要）

＜気象情報／防災情報と同じ方法＞

① 都道府県・市区町村の情報伝達システム

防災、危機管理担当部局に熱中症警戒アラートの取得が可能かどうかを確認してください（熱中症警戒アラートは高温注意情報と同じ構造の情報ですが、詳細はシステム担当者にご確認ください。）。

② 防災情報提供システム

都道府県・市区町村のIDの割り当て状況をご確認いただいたうえで、熱中症警戒アラート（メール）の受信設定をしてください。
IDの割り当て状況やメール受信の設定方法については気象台にご確認ください。

＜その他の方法＞

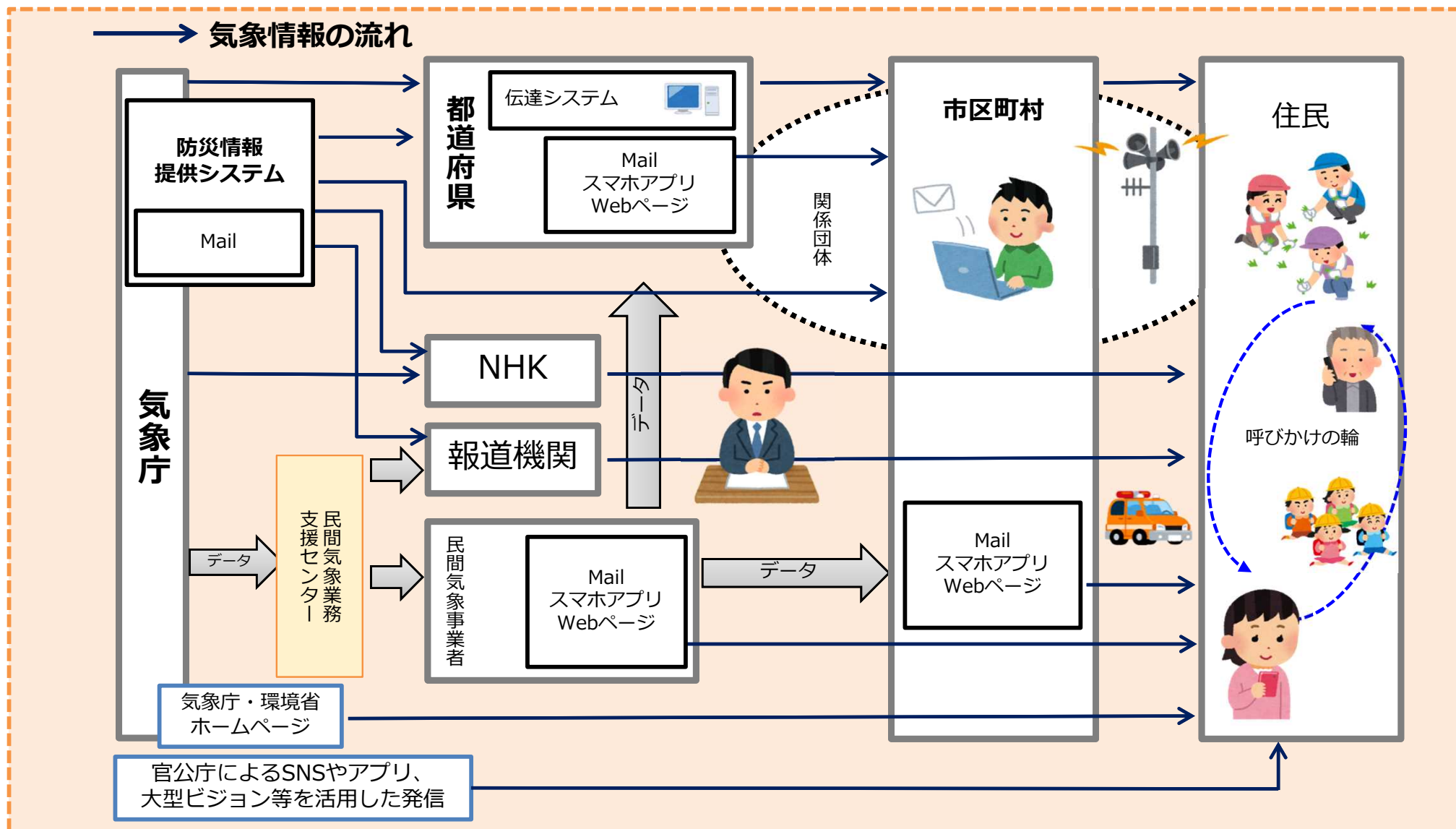
③ 気象庁・環境省ホームページ

前日17時頃と当日5時頃に更新します。

④ 環境省のメール配信サービス

環境省の熱中症予防情報サイトから登録手続きを行っていただくと、メールで熱中症警戒アラートや暑さ指数（WBGT）を受け取ることができます。

熱中症警戒アラートの伝達経路

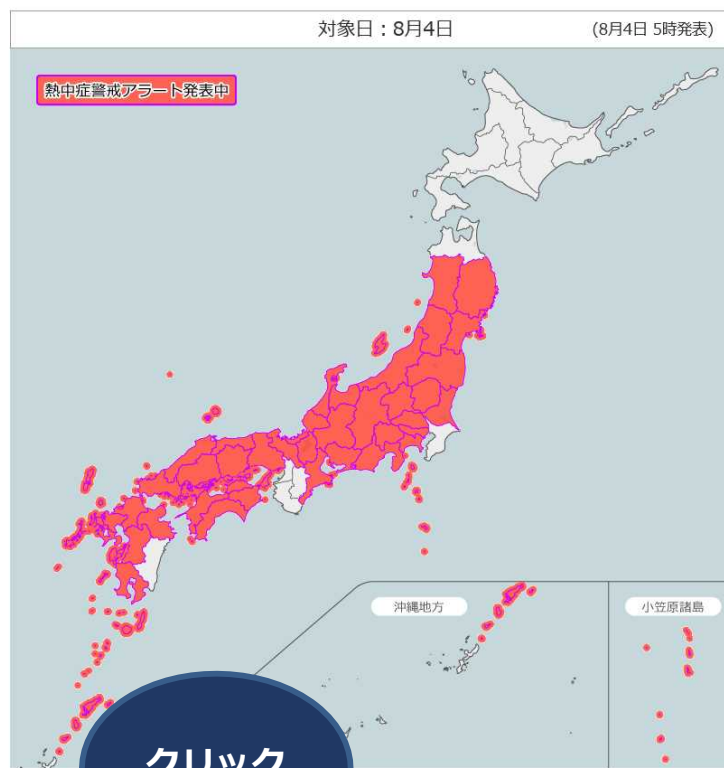


環境省のメール配信サービスについて

- 環境省の熱中症予防情報サイトから登録手続きを行っていただければ、メールで熱中症警戒アラートや暑さ指数（WBGT）を受信することが可能。

トップページ（イメージ）

熱中症警戒アラート



クリック

熱中症警戒アラート

発表状況と発表履歴

現在及び過去のアラート発表状況

熱中症警戒アラートとは

熱中症警戒アラートの概要

熱中症警戒アラートが
発表されたら
やさしい説明

熱中症警戒アラート
メール配信サービス
アラート発表をメールでお知らせ

熱中症警戒アラートのメール配信サービス（無料）

リンク・QRコード

ご希望の方は、下記リンク・QRコードよりご利用ください。
(リンク先はバイザー(株)のウェブサイトとなります)



PC・スマートフォン

<https://plus.sugumail.com/usr/env/home>



フィーチャーフォン

<https://m.sugumail.com/m/env/home>

■ 発表単位

- ・全国を58に分けた府県予報区等を単位として発表

■ 配信対象

- ・暑さ指数（WBGT）の日最高値が、33以上と予測される地点を持つ地域

■ 発表・配信タイミング

- ・発表：前日17時（翌日の情報）及び、当日5時
- ・メール配信：前日17時頃（翌日の情報）及び、当日7時頃



熱中症 警戒アラート

発表時の予防行動

熱中症警戒アラートは、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境になると予想される日の前日夕方または当日早朝に都道府県ごと(※)に発表されます。

発表されている日には、外出を控える、エアコンを使用する等の、熱中症の予防行動を積極的にとりましょう。

※北海道、鹿児島、沖縄は府県予報区単位



外出はできるだけ控え、暑さを避けましょう

- 熱中症を予防するためには暑さを避けることが最も重要です。
- 昼夜を問わず、エアコン等を使用して部屋の温度を調整しましょう。
- 不要不急の外出はできるだけ避けましょう。



熱中症のリスクが高い方に声かけをしましょう

- 高齢者、子ども、持病のある方、肥満の方、障害者等は熱中症になりやすい方々です。これらの熱中症のリスクが高い方には、身近な方から、夜間を含むエアコンの使用やこまめな水分補給等を行うよう、声をかけましょう。



環境省



気象庁

より詳しい情報は…

環境省： <https://www.wbgt.env.go.jp/>

気象庁： <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/netsu.html>

環境省 熱中症 検索



熱中症警戒アラート 発表時の予防行動



普段以上に「熱中症予防行動」を実践しましょう

- のどが渇く前にこまめに水分補給しましょう。
(1日あたり1.2Lが目安)
- 涼しい服装にしましょう。



- 屋外で人と十分な距離
(2メートル以上) を確保できる
場合は適宜マスクをはずし
ましょう。



外での運動は、原則、中止／延期をしましょう

- 身の回りの暑さ指数 (WBGT) に応じて
屋外やエアコン等が設置されていない屋内
での運動は、原則、中止や延期をしましょう。



暑さ指数 (WBGT) を確認しましょう

- 身の回りの暑さ指数 (WBGT) を行動の目安にしましょう。
- 暑さ指数は時間帯や場所によって大きく異なるため、
身の回りの暑さ指数を環境省熱中症予防情報サイトや
各現場で測定して確認しましょう。

※環境省熱中症予防情報サイト: <https://www.wbgt.env.go.jp/>



熱 中 症 と は

熱中症とは、暑い環境で体温の調整ができなくなった状態で、めまいや吐き気、頭痛、失神等様々な症状をきたし、最悪の場合は死に至る疾患です。誰でもなる可能性があり、運動中だけでなく、室内でも起こります。日頃からしっかり予防するようにしましょう。

暑さ指数 (WBGT) とは

暑さ指数 (WBGT) とは、気温、湿度、輻射熱 (日差し等) からなる熱中症の危険性を示す指標で、「危険」「厳重警戒」「警戒」「注意」「ほぼ安全」の5段階があります。段階ごとに熱中症を予防するための生活や運動の目安が示されていますので、日常生活の参考にしましょう。

「熱中症警戒アラート」は環境省のLINE公式アカウントで確認することができます。

友達追加はこちら ➡



熱中症警戒アラート 全国運用中!

熱中症警戒アラートは、**熱中症の危険性が極めて高い**暑熱環境になると予想される日の前日夕方または当日早朝に都道府県ごとに発表されます。
発表された情報はテレビ、防災無線、SNSを通じて発信されます。

報道機関
(テレビ・ラジオ)



〇〇県で熱中症警戒アラートが発表されました。
明日は熱中症予防行動を徹底しましょう。



防災無線

SNS



熱中症とは

暑い環境で体温の調整ができなくなった状態で、めまいや吐き気、頭痛、失神等様々な症状をきたし、**最悪の場合は死に至る疾患**ですが、下記のような**予防行動**を行えば防ぐことができます。

熱中症警戒アラート発表時は**徹底した予防行動**を!



エアコンを適切に使用しましょう

- 昼夜問わずエアコン等を使用して温度調節をしましょう。



外出はできるだけ控え、暑さを避けましょう

- 熱中症を予防するためには暑さを避けることが最も重要です。
- 不要不急の外出はできるだけ避けましょう。



熱中症のリスクが高い方に声かけをしましょう

- 高齢者、子ども、持病のある方、肥満の方、障害者等は熱中症になりやすい方々です。これらの熱中症のリスクが高い方には、身近な方から、夜間を含むエアコンの使用やこまめな水分補給等を行うよう、声をかけましょう。



外での運動は、原則、中止／延期をしましょう

- 身の回りの暑さ指数 (WBGT) に応じて屋外やエアコン等が設置されていない屋内での運動は、原則、中止や延期をしましょう。



普段以上に「熱中症予防行動」を実践しましょう

- のどが渇く前にこまめに水分補給しましょう。(1日あたり1.2Lが目安)
- 屋外で人と十分な距離 (2メートル以上) を確保できる場合は適宜マスクをはずしましょう。
- 涼しい服装にしましょう。



暑さ指数 (WBGT) を確認しましょう

- 熱中症を予防するためには暑さを避けることが最も重要です。
- 不要不急の外出はできるだけ避けましょう。



※環境省熱中症予防情報サイト: <https://www.wbgt.env.go.jp/>

学校やイベントの管理者等においては現場に応じた対応策をあらかじめ定め、
熱中症警戒アラート発表時には速やかに実行してください。

政府の熱中症対策

熱中症対策行動計画：令和4年度目標 適切な熱中症予防行動のより一層の定着



高齢者等の屋内における熱中症対策の強化

- 高齢者のための熱中症対策



〈リーフレット〉

管理者がいる場等における熱中症対策の促進

- 学校関係の熱中症情報



- 農作業中の熱中症対策



- スポーツの熱中症対策



- 防災における熱中症対策



〈リーフレット〉

- 学ぼう!備えよう!職場の仲間を守ろう!職場における熱中症予防情報



- 災害時情報提供アプリ「Safety tips」



For Android



For iPhone

新型コロナウイルス感染症対策と熱中症対策の両立

- 熱中症予防×コロナ感染防止で「新しい生活様式」を健康に



〈リーフレット〉

地域における連携強化

- 熱中症に関連する気象情報



- 熱中症から身を守るために



- 夏季における熱中症による救急搬送状況



- 健康・医療関係の熱中症情報



その他

- エアコンの早期の試運転について



- ヒートアイランド対策



- 無理のない省エネ生活



マイボトルで
熱中症予防を!



内閣府



文部科学省



厚生労働省



農林水産省



経済産業省



国土交通省



環境省



消防庁



スポーツ庁



観光庁



気象庁

お家の中での熱中症を防止するため、
夏本番のシーズンを迎える前に、ご家庭で
早期にエアコンの試運転を行いましょう。

夏シーズンの前に
今すぐエアコンの
試運転を
実施しよう！



夏本番の修理や設置工事は
非常に混み合います



例年、依頼が集中する7～8月は、工事実施まで
お待たせすることがあります。暑い中、エアコン
無しで過ごさないためにも、早期にメーカー推奨
の試運転を行い、不具合が無いか確認しましょう。



経済産業省



環境省



日本冷凍空調工業会



家電製品協会



全国電機商業組合連合会



大手家電流通協会

熱中症対策に
エアコンの
試運転を！